

中|小|企|業 ひろしま

No.754

広島県中小企業団体中央会
令和元年11月10日発行(毎月10日発行)

力を合わせて
ともに成長し、
広島をもっと元気に。

2019

11

— November —

INDEX

巻頭特集/組合紹介 1~2

配送業務のさらなる 効率化に向けて

広島物流ネットワーク協同組合

秋の叙勲・褒章 3

中央会ニュース 4~6

広島県中小企業診断協会との包括協定を締結
組合女性職員を対象に研修会・ワークショップを開催
「ものづくり連携倶楽部ひろしま 第10回講演会・
企業交流会」を開催

青年中央会ニュース 7~8

婚活イベント事業「青空コン 手作りPizza&プチ運動会」
「広島キッズシティ2019」に参画

お知らせ 9~10

「休職者・在職者職業訓練」
国立吉備高原職業リハビリテーションセンター
「平成30年7月豪雨による災害」の指定の改正について

全国の先進組合事例 11

宮崎県電気工事業工業組合

9月景況レポート 13~14

ものづくり企業紹介 15~16

佐々木金属工業株式会社



漁師の技が届ける、
晩秋の味わい



特集

組合

紹介

広島物流ネットワーク協同組合

配送業務のさらなる 効率化に向けて

理事長

迫 慎二 氏



組合を立ち上げるきっかけ

組合を設立したきっかけは、平成2年に施行された物流二法への対応です。これまでは需給調整の機能を持つ免許事業であったトラック運送業が、一定条件を満たせば営業が可能な許可事業となったのです。運賃も運輸大臣の認可から各事業者の届出運賃制に移行し、更に路線トラックと区域トラックの区分がなくなり、一般貨物運送事業においても積合輸送が可能となりました。これはトラック運送業界が大競争時代に

突入することを示していました。現実には、平成2年には約3万6千事業者だった一般貨物事業者が、平成22年には約5万7千事業者に増加したと聞いています。

その後のバブル崩壊により、業況は悪化し、増加傾向にあった輸送市場が停滞したのです。市場の需要は変わらないのに事業者は増加するため、相対的に荷主に対して劣勢の立場になるわけです。

しかし、この規制緩和により、市場は活性化され、創意工夫による新たな運送事業を展開することが可能となったことも事実です。

当時、私たちは、中小企業者による物流ネットワークを構築しなければ将来、取り残されると危機感をもって組合を設立しました。既に、兵庫と大阪の運送事業者が始めていたローカルネットワークシステムが土台となり、平成5年12月に設立しました。県内の規模は小さくとも、大手にない機動力を持ったそれぞれの業種におけるスペシャリスト12事業者が集まりました。食品、冷蔵、重量、積み合わせ、引越、倉庫、その他産業界から一般消費者向けの、ありとあらゆる物流に対応する車両や配送技術を持った事業者です。

日本最大級の求車・求荷物流ネットワークシステム

組合で取り組むべき課題は、配送の効率化でした。組合員はそれぞれ運送する貨物によって季節変動があり、これを平準化することが求められていました。また、目的地まで貨物を運んだ後の車両の有効活用も課題でした。これらの課題は、広島県内の



連携では解決しません。そのため設立後直ぐに、全国で同じ志によって設立された協同組合の連合会である、日本ローカルネットワークシステム協同組合連合会（JL連合会）に参加しました。JL連合会の構築した物流ネットワークシステムは、全国の地域ごとに設立された協同組合とそこに所属する組合員によって構成されており、北は北海道から南は九州・沖縄までの全国に及び、個々の組合員は、インターネットによる求車・求荷ネットワークと信頼のヒューマンネットワークで結ばれています。パソコンで、荷物を依頼する側と、車両を提供したい側が「荷物・車両・倉庫」の情報を登録・検索することで、詳細な条件を確認後、契約となるシステムです。

また、情報をいち早く提供できるようインターネットに繋がった組合員のパソコンから、24時間対応のオンラインシステムにより、求車・求荷およびその他の情報の入力、検索、契約を行い、組合員間で直接情報交換ができるシステムになっています。加えて、決済業務はお互いに所属する協同組合間で行い、責任の所在が明確になっているので、請求業務な

どの事務の簡素化にもつながり、組合員の負担を軽減しています。

全国の昨年度の取引高は538億円、登録契約数は93万件に達しており、当組合の昨年度の取引高実績は約4億4千万円、求車・求荷件数15,015件となっていますが、今年度は前年度比110%を目指し、実務者会議と連動させ、システム利用取引の拡大を行っていきます。

人と人が顔を合わせる ヒューマンネットのベース

組合員は、求車・求荷のほとんどをネットワーク上で行っていますが、組合員各社の事情もあり、全ての情報をシステム上に載せるには未だ解決すべき課題があります。それを埋めるのがヒューマンネットの役割となります。組合員間で繁忙期・閑散期、保有車両、得意としている取扱貨物、主要な配送方面などの情報を交換できるように、実務者会議を毎月開催しています。情報交換を通じてストックされるこれらの情報が、求車・求荷情報のマッチングを高めるための基礎情報となるのです。

荷主からの様々な条件指定があ

り、機械的なマッチングが難しい場合、このフェイス・トゥ・フェイスの実務者会議で作られたヒューマンネットが活かされています。

さらなる輸送の 効率化に向けて

運送業界を取り巻く経営環境は、常態化する人手不足への対応に加え、長時間労働の是正や適正運賃の収受への対応、さらには国が進める働き方改革や中小企業における生産性の向上への取り組みなど多くの課題を抱えています。これらへの対応は、組合員企業一社単独で克服することは困難です。

当組合では、多種多様な物流ニーズに応えるため、適切な運行計画による高品質な輸送体制に取り組み、積み合わせ配送・小口多頻度配送の効率化を行い、さらなる配送業務の効率化を図るため、全国にある協同組合や組合員一人ひとりが手を取り合って、強力なローカルネットの構築を進めてまいります。



実務者会議



実務者研修会

広島物流ネットワーク協同組合

〒732-0031
広島市東区馬木7-1984
(ネストロジスティクス内)
TEL：082-883-0301
FAX：082-883-0505

● 秋の叙勲・褒章 ●

この度の受章、誠におめでとうございます。

叙 勲



旭日小綬章

上野 弘文 氏

広島県自動車整備商工組合 副理事長



旭日小綬章

灘 博明 氏

中国税理士協同組合 顧問
元理事長



旭日双光章

赤松 治美 氏

広島県東部機械金属工業協同組合 理事



旭日双光章

喜瀬 清 氏

広島印刷団地協同組合 理事長
広島県印刷工業組合 理事



旭日双光章

藤井 春男 氏

広島県歯科医師協同組合 元東広島支部長



旭日双光章

藤岡 道治 氏

広島県歯科医師協同組合 元理事



旭日単光章

竹田 史朗 氏

熊野筆事業協同組合 元理事長



瑞宝単光章

畑 義幸 氏

川尻毛筆事業協同組合 理事

褒 章



黄綬褒章

竹内 徳將 氏

広島県木材協同組合連合会 副会長

中央会NEWS

広島県中小企業診断協会との包括協定を締結

去る10月31日、一般社団法人広島県中小企業診断協会(会長 江川雅典)と広島県中小企業団体中央会(会長 伊藤學人)は、「中小企業組合等の支援の強化に関する業務連携・協力に関する覚書」を締結した。

当日の協定締結式では、中小企業組合及び中小企業・小規模事業者の経営課題の解決や企業成長のための支援をより効果的に行うために、広島県中小企業診断協会と当会が相互の連携及び業務協力を一層強力に進め、地域の事業者の発展に寄与することを目的とする覚書を交わした。



江川会長と伊藤会長

本覚書で定める連携・協力事項は、

1. 両組織の協力により、経営診断、事業計画策定など経営革新にかかる支援や、伴走支援を充実する。
2. 事業者の成長に寄与する事業について、企画・立案し、実施する。

具体的な先行事例として、昨年度も、一般社団法人広島県中小企業診断協会からの協力のもと、中央会会員組合を対象に企業内診断士による経営診断も実施しており、当会としては、今後もこうした取組を実施していきたい。

組合女性職員を対象に研修会・ワークショップを開催 ～自らの仕事への向き合い方を改めて見つめ直す機会を提供～



講師との対談

働き手が不足する中、「女性の力」は我が国最大の潜在力であり、女性の中に眠る高い能力を十分に開花させ、活躍できるようにすることが

組合成長戦略の中核であると当会では考え、女性職員がその持てる潜在能力を顕在化するための研修会を開催した。

当日は、協同組合ビジネス交流センター 専務理事 平田美登利氏を講師に招聘し、「私の生き方～パート職員から役員へ～」をテーマに研修会を実施。その後4、5人のグループに分かれ、研修会の内容を踏まえ、自らの仕事への向き合い方や工夫、目指すべき将来像やそのために今すべきことについて話し合いを行った。最後に全体で情報共有を

行い、参加者が互いに交流を深めた。

参加者からは、「ロールモデルである平田氏は今後目標となる姿として参考になった」「ワークショップにおいて自身とは異なる考え方に触れることで、新たな気づきや自己の働き方を顧みることができた」「様々な仕事や業種、年齢の方とお話ができ、参考になった。また、新しい考え方に解れ改めて思うこともあり、とても有意義だった」等前向きな感想をいただいております。来年度以降も女性職員が自分自身を見つめ直し、今後のあり方に活かせる場を提供できるよう企画していく。



ワークショップの様子

中央会 NEWS

ものづくり連携倶楽部ひろしま 第10回講演会・企業交流会を開催

広島県中央会では、県内ものづくり企業を中心とした中小企業者の新たな連携を支援するために「ものづくり連携倶楽部ひろしま」を、9月27日(金)、ANAクラウンプラザホテル広島において開催した。

10回目の開催となる今回は、今まで以上に連携支援を意識し、目標を3種類の連携「①プロトタイプ商品開発(自社製品の開発、製品アイデア検証・拡張、製品詳細修正)」「②研究開発のスピードアップ(自社にない製品の設計・評価・改良、研究会立ち上げ)」「③受発注パートナーの発見」の成立に設定し、新しい連携を促進するために、事前に、これまで開催した連携倶楽部に未参加の企業に広く参加を呼びかけた結果、約70名が参加した。

今回は、「講演会」と「交流会」を開催したが、「講演会」は、ものづくり企業に共通する課題解決のヒントなるべく「優れた経営革新事例紹介」をテーマとし、中小企業者の販路開拓、新事業創出、連携等、多様な事業展開及び経営力の強化を目指した。「交流会」は、参加する中小企業が新たなビジネスチャンスを獲得することにより、経営課題を解決し、経営力を向上させるためのきっかけ作りを目指し、24件のマッチングが成果として上がった。

講演会 第一部

【テーマ】 「ディズニー、NASAが認めた次世代工場
～旧態依然としたビジネスモデルから脱却
し、利益率20%超～」

【講師】 HILLTOP株式会社 代表取締役副社長 山本昌作 氏

【概要】

HILLTOP株式会社(京都府宇治市)は、主にアルミの切削加工を行う鉄工所。多くの企業が取り扱わない多品種小ロットに力を入れ、20%を超える利益率を確保している。



HILLTOP(株) 代表取締役副社長 山本昌作氏

創業時は自動車メーカーの下請けとして、量産メインの仕事をしていた。しかし、単純作業で、利益も薄く、何より楽しくない。「楽しくなければ、仕事じゃない!」「ルーティーン作業はロボットがやればいい、もっと人間らしい仕事がしたい!」「人生の1/3は仕事だ。その仕事が面白くなかったら、人生がもったいない!」との思いから、売上の8割を占めていた下請け仕事をやめ、多品種小ロットを扱う企業に変革させた。

作業を効率化させるために、技術を定量化する「ヒルトップシステム」を作り上げた。職人の技術やノウハウをすべてデータ化し、単純作業は機械にさせ、人は知的労働に専念できる環境を作る。技術のデータ化で、多品種小ロットで24時間無人加工できるようになり、スピード対応、品質の均一化、コスト削減を実現した。

人材を何よりも大切にし、「理解と寛容を以て人を育てる」を理念に人材教育をしている。社員のモチベーションが上がれば、自動的に生産性も上がり、利益も上がる。人は褒めることで成功体験を感じ、次々と新しいことを考える。結果が悪くても、過程を褒める。褒め続けると社員はハイテンションになり、成長スピードが格段に上がる。この状態のときに、新しいフィールドを与え、次の成長を促している。

頻繁にジョブローテーションを行っている。短期的には効率が下がるが、全員がすべての立場で物事を考えられるようになり、長期的には生産性を上げるものになる。

このようにHILLTOPは、「楽しくなければ、仕事じゃない」という考えですべての仕事を回している。

講演会 第二部

【テーマ】「電子機器基板の高品質・高効率な生産体制の構築」

【講師】 株式会社ハイブリッド 取締役管理部長 長瀬 儀彦 氏

【概要】

ISOクラス8のクリーン精密工場において温湿度管理を含めた静電気対策の徹底管理に行っている。また、流通経路情報把握システムいわゆるトレーサビ



株式会社ハイブリッド 取締役管理部長 長瀬 儀彦氏

リティを充実させるとともに、各工程に検査機を設置することで品質管理の向上や効率化を図っている。

人手が足りない、設備が古く検査プログラム作成に時間がかかるなど弱みがあったため、新たに検査機を導入し、工数短縮、検査データ蓄積で効率化を実現することができ、より高品質な基板生産、高効率な生産体制を確立することができた。

【テーマ】「豪雨災害・高潮被害から人命や財産を守る防水扉・防水板でBCP対策に貢献」

【講師】 株式会社宇根鉄工所 代表取締役 宇根 利典 氏

【概要】

公共工事を中心に様々な水門を作り、それらの水門は街を守り続けている。近年、ゲリラ豪雨による甚大な被害が全国各地で発生しており、建物、地下鉄や地下空間への入口などへ防水扉（水門）の設置が急務となる中、いつでも確実に閉鎖できる、人の手を介さない24時間全自動、メンテナンスフリーの防水板・防水扉の開発により、受注増に繋がった。



株式会社宇根鉄工所 代表取締役 宇根利典氏

【テーマ】「塩田跡地を活用し、生牡蠣の養殖や高品質な食用塩の生産で稼働率アップ」

【講師】 株式会社ファームスズキ 代表取締役 鈴木 隆 氏

【概要】

牡蠣の養殖方法、販売方法、リスクヘッジを特徴にした独自の養殖ビジネスモデル（差別化戦略）を確立。

BtoC販売に注力し、SNSを活用した販売促進



株式会社ファームスズキ 代表取締役 鈴木隆氏

を行っている。2015年に広島ベンチャーキャピタルより出資を受け、養殖場内に飲食スペースをオープンし、離島への観光客の誘致を実現した。また、自社製品販売用の動画再生タッチパネル式自動販売機の開発や塩田跡の地下海水を利用した製塩機の開発、ドローンを利用した給餌システムの開発で車海老の養殖も手がけている。

広島県中央会では、今後も「ものづくり連携倶楽部ひろしま」を継続し、企業の生産性向上と新規ビジネスの創出に向けた事例紹介・情報提供により、ものづくり企業等の成長支援を図ることとしている。

青中NEWS

婚活イベント事業『青空コン 手作りPizza&プチ運動会』



広島県青年中央会は10月13日(日)、三原市大和町の廃校をリノベーションしてコミュニティ施設となった旧和木小学校にて、婚活イベント事業『青空コン 手作りPizza&プチ運動会』(後継者育成事業)を開催した。

今回で5回目となるこの事業は、企画・運営を青年中央会の婚活イベント実行委員会が中心となっており、(一財)義倉・三原臨空商工会・和木地域活性化実行委員会からの後援、大学生・三原臨空商工会女性部の協力などを得て実現した。

男性参加者は、青年中央会会員組合の所属企業から、女性参加者は広島県の婚活応援サイト「ひろしま出会いサポートセンター」から募り、総勢46名(男性22名、女性24名)の参加となった。

昨年は途中で会場を移して果物狩りを行ったが、「移動が多く慌ただしかった」「ゼッケン姿を一般の方に見られるのが恥ずかしかった」という参加者の声を反映させ、今回は会



レクリエーション風景

場の移動をせず、旧和木小学校内でイベントを完結することで、参加者間のスムーズな親睦・交流を図った。



応援に駆けつけた
やっさだるマン

イベント前半は、体育館でのお見合い回転寿司や、運動会を模した簡単なレクリエーションを行い、開放的な雰囲気を作り出すと共に、三原市の公式ゆるキャラ「やっさだるマン」が応援に駆けつけ、洗練された動きで場を盛り上げた。その後、グループ毎に調理室で生地を延ばすところから本格的なピザ作りを行い、青空のもと釜で焼いたピザを味わいながら歓談した。前半の締め括りには、後半の交流促進に弾みをつけるため、昨年から取り入れた「中間投票」を行った。



本格的なピザ作り

イベント後半は、会場を校舎内の交流広場に移し、用意されたぶどうや柿などの旬の果物を楽しみながら、グループトークとフリータイムを行い、思い思いに会話を楽しんだ。その後、「最終カップリング投票」により6組のカップルが誕生した。

中島実行委員長は、「今回は準備が十分でない部分もあり、とても慌ただしかったが、多くの方に協力していただいたおかげで、ほぼ例年通りの数のカップルが成立した。今後、カップルからの良い報告が聞けると嬉しい。」と語られた。

青年中央会では、今回のイベントを通じて得た経験を今後の運営に活かし、会員青年部及び所属企業の発展の一助となる事業を推進していく。

青中NEWS

「広島キッズシティ2019」に参画 ～子供たちに「自ら育つ力」の醸成を～

広島県青年中央会は、組合青年部PR事業の一環として、10月5日(土)に広島県立広島産業会館にて開催された「広島キッズシティ2019」に参画した。



ハローワーク受付業務を担当

通算で9回目となった当イベントは、子供達が自らの力で考え、行動して、体験し、子供達が本来持っている「自ら育つ力」の醸成を支援することを目的としている。当日は、館内26のブースで子供達が職業体験し、大きな声で売り子を務めたり、接客対応をしたりと、元気いっぱいに目を輝かせて笑顔で取り組む様子が多く見受けられた。

青年中央会は、運営支援として、昨年に引き続き事前登録された「キッズアルバイト」に対してお仕事紹介を行う「ハローワーク」受付業務を担当。また、会員組合の青年部等から3ブースが出店を行うなど、子供たちやその家族、来場者に対して、組合及び業界のPRを行った。



子供達の職業体験の様子

今後も他団体との連携をさらに深め、青年中央会のPRを続けていくことで、活動を活発化させ、会員企業の繁栄・発展に寄与できるイベントを企画していく。

働くみんなに、
大きな安心。

中退共は、半世紀で100万社以上の中小企業にご利用いただいている国の退職金制度です。

中退共

CHU TAI KYO
小企業 退職金 共済制度

安全

国の制度だから安心
新規加入や掛金を増額する場合、
掛金の一部を国が助成します。

有利

掛金は全額非課税
手数料もかかりません。

簡単

社外積立で管理も簡単
納付状況や退職金試算額を
事業主さんにお知らせします。



詳しくはホームページをご覧ください。

中退共

検索



(独)勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1
TEL.03-6907-1234 FAX.03-5955-8211

お知らせ

「休職者・在職者職業訓練」

国立吉備高原職業リハビリテーションセンターでは、疾病や事故等で休職している方々の職場復帰支援は勿論、在職中の障害のある方のスキル向上が必要とされる場合、その雇用の安定を維持するための訓練も行っています。人材の確保が重要な現在。**従業員の雇用の安定維持にご活用ください。**

休職者オーダーメイド型訓練

疾病、事故等により受障し、休職中の方が復職するに当たり、新たな職業技能を習得することが必要となった際の訓練です。障害状況等を踏まえて、復職後の具体的な職務を想定した訓練カリキュラムをオーダーメイドで設定します。

対象者：疾病、事故等で休職し、職場復帰を目指している身体障害・高次脳機能障害・難病のある方

募集期間：随時(いつでも応募可能です)

入所日：随時(いつでも入所可能です)

訓練期間：最大6ヶ月以内(実施期間は協議の上決定します)

受講料：無料(教材費等は実費を負担していただきます)

在職者オーダーメイド型訓練

在職中の障害のある方向けに、新たなスキルの習得のため事業主のオーダーや受講者が既に有している知識や技能を踏まえて訓練カリキュラムを設定する訓練も実施しています。

対象者：企業に在職中の身体障害・高次脳機能障害・難病のある方

募集期間：随時(いつでも応募可能です)

入所日：随時(いつでも入所可能です)

訓練期間：最大6ヶ月以内(実施期間は協議の上決定します)

受講料：無料(教材費等は実費を負担していただきます)

高次脳機能障害のある方の例

【40代男性】

脳梗塞により高次脳機能障害を受障。記憶力、注意力低下等を補完する手段の獲得と営業職から事務職への職種転換のため入校

【訓練内容】

- 体調の自己管理
- スケジュールの自己管理
- 補完方法の習得(定規・付箋・レ点チェック)
- OA機器の基本操作方法の習得
- 復帰後の事務職務(伝票入力等)を想定した技能の習得



視覚障害のある方の例

【30代女性】

疾病により視覚障害を受障。視覚障害者用アクセス機器の活用方法を習得し、事務職務を円滑に行えるようにするため入校

【訓練内容】

- 拡大読書器の活用
- 画面読み上げソフト・画面拡大ソフトの活用
- 復帰後の事務職務(データ管理等)を想定した技能の習得



身体障害のある方の例

【30代男性】

交通事故で身体障害(下肢機能障害)を受障。機械製造業務から機械設計業務への職種転換のため入校

【訓練内容】

- 機械の部品図・組立図の2次元CADによる設計・製図
- 3次元CADによるモデリング等に関する知識・技能の習得
- OA機器の基本操作方法の習得



お問い合わせ先

国立吉備高原職業リハビリテーションセンター

〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川7520

URL : <http://www.kibireha.jeed.or.jp>

TEL : 0866-56-9003

「平成30年7月豪雨による災害」の指定の改正について

中小企業信用保険法の規程に基づき、経済産業大臣が指定する「平成30年7月豪雨による災害」の「地域」及び「指定の期間」が令和元年10月11日付けで改正されました。

1. 指定地域：広島市、呉市、三原市、安芸高田市
2. 指定期間：平成30年7月5日から令和2年1月11日まで

本指定に基づき、その住所地を管轄する市町長から「特定中小企業者」の認定を受けた中小企業者は、

①信用保証協会の「経営安定関連保証」の適用を受けることができます。

②県制度融資において、別紙のとおりこの認定を受けた中小企業者を対象とする「セーフティネット資金(国指定)」を設けています。(下記参照)

【広島県県費預託融資制度】

項 目	内 容
対 象 者	県内に事業所を有し、引き続き1年以上同一事業を営んでいる中小企業者、組合等で、中小企業信用保険法第2条第5項第4号(経営安定関連(セーフティネット)保証4号)に該当するものとして、事業所の所在地を管轄する市町長の認定を受けた中小企業者、組合等 〔認定基準の概要〕 次の要件に該当すること。 1 指定地域(広島市、呉市、三原市、安芸高田市)において1年以上継続して事業を行っていること。 2 平成30年7月豪雨による災害の発生に起因して、当該災害の影響を受けた後、原則として最近1か月の売上高等が前年同月に比して20%以上減少しており、かつ、その後2か月を含む3か月間の売上高等が前年同期に比して20%以上減少することが見込まれること。
資金使途	運転資金及び設備資金
融資限度額	中小企業者 8,000万円 組合等 1億6,000万円
融資期間	運転資金10年以内(据置1年以内) 設備資金10年以内(据置3年以内)
融資利率 (平成31年4月1日現在)	固定金利 1.0%
信用保証	すべて広島県信用保証協会の保証(経営安定関連(セーフティネット)保証)付きとする(保証料率は、年0.7%)。
担保・保証人	取扱金融機関又は広島県信用保証協会所定の方法による。 (原則として、法人の代表者を除き保証人は不要)
取扱金融機関	商工組合中央金庫、広島銀行、もみじ銀行、中国銀行、山口銀行、伊予銀行、四国銀行、西日本シティ銀行、山陰合同銀行、西京銀行、鳥取銀行、百十四銀行、愛媛銀行、香川銀行、トマト銀行、みずほ銀行、広島信用金庫、呉信用金庫、しまなみ信用金庫、広島みどり信用金庫、広島市信用組合、広島県信用組合、備後信用組合、両備信用組合、信用組合広島商銀、朝銀西信用組合、笠岡信用組合
申込方法	融資を希望する方は、中小企業信用保険法第2条第5項第4号に該当する特定中小企業者である旨の市町長の認定書を添付して、取扱金融機関に申し込んでください。

全国の 先進組合事例

宮崎県電気工事業工業組合

～青年部・女性部による活性化～

人材確保と若手 育成を両立する 学生交流会の取組み

■背景・目的

現在、組合員企業では技術者不足・後継者不足が顕著となっており、人材の確保と育成が喫緊の課題となっている。そこで、就職を控えた学生の考え方や価値観に耳を傾けるとともに、電気工事業の魅力を直接伝える機会を創出するため、当組合青年部協議会の各支部が地域の専門学校及び高等学校との学生交流会を開催している。

■取組みの手法と内容

当青年部協議会は総務厚生委員会、技術経営委員会及び特別部会の3つのグループで構成され、特別部会が学生交流会の業務運営を行っている。また、特徴として宮崎県電気工事業工業組合も同様の委員会及び特別部会を設置しており、組合と青年部協議会が密接に連携している。

具体的な実施内容は、職業体験の講話及び学生とのグループディスカッション等であり、電気工事業の本質的な仕事内容を直接伝えている。中でも、仕事の良い部分(独立が可能、達成感がある)だけではなく、悪い部分(休みがあまりない、危険)も真摯に話し合うことで、学生の就職に対する不安を解消させている。

実施に際する工夫として、平成30年度から保護者の意



学生交流会風景2



学生交流会風景1

見・要望を把握するため、事前にアンケートを実施し、保護者参観を提案する等外部関係者に対して取組みの見える化を図っている。

開催後は、学生交流会で実施した内容、成果、反省点などを組合及び青年部協議会に速やかに報告することで、情報共有を図るとともに事業内容を継続的に改善している。

今後の展開として、強みである固い団結力による協力体制を維持するとともに、学生交流会を開催する地区の拡大(現在12支部中4支部が実施し、今年度も増加中)が検討されている。

■成果とその要因

内部の成果として、学生との対話によって中途採用だけでなく新卒採用を積極的に検討するように組合員の意識が変化している。また、対外的な成果として、専門学校及び高等学校などの協力機関から高評価を得て信用力が高まっている。

成果の要因としては、深刻な問題である技術者不足・後継者不足を真摯に受け止めた上で、学生とのグループディスカッションを通じ、若い世代の考え方や価値観の理解に努めていることや、電気工事業の魅力について学生に直接伝えていることが挙げられる。

また、保護者へのアンケートを実施するなど外部関係者に対して取組みの見える化を図っていることも要因の一つである。

■住所 〒880-0843 宮崎県宮崎市下原町256番地
■TEL 0985-24-7388
■URL <http://www.mdkk.jp/>
■設立 昭和41年11月 ■出資金 4,150千円
■主な業種 電気工事業 ■組合員 415人

「平成30年度 組合資料収集加工事業報告書 先進組合事例抄録」より

Shinkumi Bank

ちかくにいるから、
チカラになれる。

信用組合
しんくみ

信用組合は、中小企業や小規模事業者、地域・業域・職域の生活者である組合員に対して、
決め細やかな訪問活動と、人の温もりを大切にした親身な相談活動を通して、
どんな時も、組合員と共に歩み続ける、身近な金融機関であることを約束します。

広島市信用組合

☎(082)248-1171
広島市中区袋町三番十七号

広島県信用組合

☎(082)249-1111
広島市中区富士見町一番十七号

信用組合広島商銀

☎(082)244-1152
広島市中区西平塚町四番十二号

呉市職員信用組合

☎(083)253-4066
呉市役所本庁舎八階
呉市中央四丁目一番六号

両備信用組合

☎(0847)452-2218
府中市元町四六二番地の十

備後信用組合

☎(0849)226-5566
福山市野上町三丁目二番三三号

広島県信用組合協会

☎(082)247-7363
広島市中区宝町九番十一号

広島県信用保証協会をご利用のみなさまへ

経営診断メニューのご案内

無料

＼ 経営の悩み、相談してみませんか？ ＼

中小企業診断士が
経営診断を行います。



【1日間コース】

創業サポート

【4日間コース】

企業経営改善サポート

じっくり相談
できてよかった！

問題点が
明確になった！



お申込み・お問い合わせ先



広島県信用保証協会
HIROSHIMA GUARANTEE

082-222-8406

《創業・経営支援課》



9月 景況 REPORT

— 情報連絡員報告から —

増加・上昇・好転
 変らず
 減少・下落・悪化

製造業

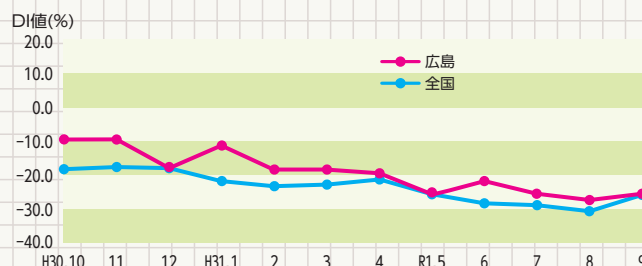
業種	動向項目	前月比		前年同月比	
		売上高	業界の景況	売上高	業界の景況
食料品					
繊維・同製品					
木材・木製品					
印刷					
化学・ゴム					
窯業・土石製品					
鉄鋼・金属製品					
一般機器					
電気機器					
輸送用機器 (自動車・造船)					
その他 (家具・装備品)					

(注)DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

非製造業

業種	動向項目	前月比		前年同月比	
		売上高	業界の景況	売上高	業界の景況
卸売業					
小売業					
商店街					
サービス業 (自動車整備・広告・警備・情報サービス)					
建設業 (工事業)					
運輸業					
その他 (不動産業)					

景況DI値の推移 (前年同月比)



情報連絡員からのコメント紹介

製造業

食料品

- 消費税率引き上げの影響はなかった。
地方発送のある企業は運賃負担の大きさに疲弊しており、収益を圧迫している。
- 9月の出荷量は前月比3.4%増加、前年同月比3.3%増加となり、売上高は前月比6.7%増加、前年同月比4.3%増加となった。

木材・木製品

- ＜全国＞
 - ・令和元年8月の全国の住宅着工戸数は76,034戸で前年同月比7.1%減少
 - ・季節調整済年率換算値では89.1万戸(前月比2.1%減少)
 - ・利用関係別では、持家は24,027戸で前年同月比1.6%減少、貸家は29,255戸で前年同月比17.5%減少
 - ・分譲住宅は22,517戸で前年同月比5.6%増加
 - ・木造住宅着工は43,663戸で前年同月比7.1%減少
 - ・住宅着工の動向については、引き続き借家の減少が著しく、1月からの総戸数累計も需要の最盛期でありながら2ヵ月連続で減少している。
- ＜広島＞
 - ・広島県内の8月の着工戸数は1,408戸で前年比14.0%減少、このうち持家は499戸で9.2%増加、貸家は480戸で33.1%減少、分譲は428戸で26.3%増加
 - ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で2ヵ月連続の減少となった
 - ・プレカット工場も8月後半の悪天候で基礎工事の遅れや大工職人不足、図面確定の遅れで下降が先送りされるなど一服ムードがあり、地域や工場によって受注状況に差が生じている。構造材メーカーの受注も8月より悪化している。機械等級製材の漸増など、非住宅の中大規模木造建材へ今後の期待もあるが、採算性などの不

- 安材料もあり、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。
- 原木の出材が減少し、丸太相場は桧を主体に上昇した。丸太高製品安の傾向が強い。
新築住宅は増税後の施策が手厚いため、駆け込み需要はほとんど感じられなかった。様々な業界で景況感が悪化していると感じており、特に梱包材など産業用資材の需要落ち込みが著しい。
- 消費税率引き上げに伴う駆け込み需要がほとんど感じられない分、落ち込みもなさそうである。来週に向け、仕事量は増加すると思われるが先行きは不透明である。
- 印刷 (出版・印刷・同関連)
●消費税率引き上げを控え、駆け込み需要が若干あったように感じる。しかし、以前の増税時の印象とは違い、物の買いだめとは違った消費者の動きがあるようにも思われる。これを機に全社で新しい店舗づくりを考えるなど、印刷業の「コトづくり」への提案が益々必要になってきていると感じる。
- 化学・ゴム (工業用ゴム製品)
●第2四半期において、前回のような駆け込み需要はなく、自動車業界においては第1四半期に比べ、仕事量は減少傾向にある。米中貿易摩擦による輸出(特に中国、米国向け)が停滞していることが主な要因である。
10月からの消費税率引き上げが景気の下振れ要因になると懸念している。各社残業の削減や投資縮小、経費削減を行わなければならないと判断している。さらに、中東情勢により原油価格の高騰も心配している。
- 化学・ゴム (プラスチック製品製造業)
●自動車関連の売上は、生産調整等によりやや悪い。全体的に現状を維持している。不安定要因が多く、先行きが懸念される。
- 窯業・土石製品 (窯業・土石製品)
●出荷状況
元年9月 3,219㎡ (前年比14.43%増加)

元年8月 2,530㎡

元年9月 2,813㎡

鉄鋼・金属製品（鉄鋼業）

●溶断（金属素材を融点以上に加熱し切離す）工場が1件倒産した。比較的電気使用量が多かったため、組合への影響も懸念される。

一般機器（一般機械器具）

●今月の売上は、前月比41.2%増加となったが、出荷時期の変更等による売上計上のタイミングによるものである。前年同月比15.5%減少でやや減少傾向で推移している。

業界の受注総額は2013年4月以来の900億円割れ。米中貿易摩擦による設備投資環境悪化が国内外で進行している。

●組合員企業の動向については、大きな動きはない。

役員の高齢化、世代交代が組合の課題である。

増税前の駆け込み需要があったようである。

電気機器（電気機械器具）

●今月の国内売上は前年並みであるが、輸出の低迷が続いているため前月比2.5%増加、前年同月比5.25%減少となった。

最低賃金の上昇は経営を圧迫している。残業規制への対応に苦慮しそうである。

輸送用機器（輸送用機械器具（自動車））

●組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の業況（生産台数）に比例している。

・9月の国内自動車販売台数は全需が548千台、前年同月比12.9%増加と3ヶ月連続の前年超え。登録車は前年同月比21.8%増加と3ヶ月連続の前年超え、軽自動車は前年同月比で13.2%増加と2ヶ月連続の前年超え。

マツダ車は21.6%増加と2ヶ月振りの前年超え

・マツダ車の8月の海外販売合計台数は102千台、前年同月比11.3%減少と12ヶ月連続の前年割れ

・マツダの8月の輸出動向については、輸出台数は前年比12.8%増加と2ヶ月連続の前年超え

・マツダの8月の国内生産台数は、前年同月比16.1%増加と2ヶ月連続の前年超え

輸送用機器（輸送用機械器具（造船））

●県内2500総トン以上の令和8年の船舶建造許可実績は5隻、298,750トンであった。（前月3隻100,900総トン、前年同月1隻13,550総トン）なお5隻は全て輸出船で貨物船であった。

●中小造船業については、前月と大きな変化はない。

非製造業

卸売業（総合）

●GW以降、全体として停滞感があり、米中貿易摩擦や消費税率引き上げ等が重なったことによるものと思われる。

近隣の商業施設との人材獲得競争により、中小企業は賃金コストが上昇。人手不足感も継続している。また、街中と比べて立地条件が悪く人手確保が難しい。

・売上等の各項目は一進一退で大きな変化はない。人件費、配送、燃料費が上昇傾向にあり依然厳しい。

卸売業（生鮮）

●鮮魚の入荷が少なく、価格上昇に繋がっている。

卸売業（電設資材）

●広島県の7月の着工状況は、前年比5.5%減少した。内訳としては、持家2.0%減少、分譲18.4%増加、貸家29.5%減少と全体では前年比減少、分譲のみが増加した。

消費税率引き上げによる駆け込み需要は大きく感じられないが、工具関連商品の発注が増加している。

卸売業（家具）

●今月の売上は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要により、前年比50%程度増加。しかし、その反動減で10月の第1週の売上は前年比30～40%減少であった。

卸売業（畳・敷物）

●国産畳表の取引状況は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要もあり、売上は堅調に推移し、取扱量も増加した。販売価格も高値安定している。新草の畳表も出回る時期になった。

JAS畳表（主に中国産表）は伸び悩み、前年並みの取扱で推移した。国産の化学表（パルプ）は堅調に推移している。

小売業（各種商品小売業）

●9月は消費税率引き上げ前の駆け込み需要により前年を大きく上

回ったが、10月以降の反動減を懸念している。

●鮮魚は台風等の気象条件が影響して商材不足となり、相場高が続いている。

野菜は前年より入荷が多いが消費が伸びず、前月から相場安が続いている。

果物は前年並みの入荷となったが、相場高が続く、売上は順調である。

スーパーなど大型量販店は消費税増税前の特需があり、売上に大きく影響しているが、来月以降小売業界全体で反動減が懸念される。

小売業（家庭用電気機械器具小売）

●今月の販売実績は前年同月比1.6%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比9.6%減少、冷蔵庫同1.6%減少、洗濯機同1.0%増加、IHクッキングヒーター同5.8%減少、電気温水器同12.7%減少、エアコン同4.4%増加となった。

小売業（その他の小売業（燃料））

●消費税率引き上げに対して、5年前の引き上げ時ほどの混雑はなかった模様である。しかし、サウジアラビア石油施設へのドローン攻撃の影響による原油価格の高騰が重なり、小売価格への転嫁ができておらず、一層の収益悪化が危惧される。

商店街（各種商品小売業）

●閉店後の店舗跡地に次々とマンションの建設が予定されている。

空き店舗の活用策として、創業支援イベント等の開催が予定されている。

●消費税率引き上げに伴う駆け込み需要は特にならない。

サービス業（自動車整備業）

●車検台数は、前月比25.1%増加、前年比12.7%増加

車検場収入は、前月比22.8%増加、前年比13.0%増加

重量税・登録印紙上は、前月比24.4%増加、前年比33.7%増加

サービス業（広告業）

●今月は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要も多少見うけられたが、受注縮小に伴う受注の減少により売上は減少した。今後も受注は減少していくものと思われる。

建設業（工事業）

●今月の電気工事受付件数は、400件と再び増加に転じ、前月比142%増加、前年比114%増加となった。消費税増税前の駆け込み需要ではないかと思われる。新築比率が高く48%となった。来月以降反動減を懸念している。今年度に入っても作業員不足は解消されず益々深刻化している。

●材料の売上げは減少している。

●カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、今月は前月比30.9%増加、前年同月比11.8%増加、前年累計比5.3%増加となった。カーテン、壁装が伸びたことで全体を押し上げた。敷物は低調が続いている。今後年度末に向けて売上拡大を期待する。今後は大口物件の見込みがなく、小口のかき集めが続く見込みである。

●引き続き人出不足が続いている。

運輸業（道路貨物運送業）

●9月後半は消費税率引き上げ前の家電、日用品等の駆け込み需要により、車輦不足が起こった。荷動きは活発で、売上は増加し収益も改善した。10月は反動減により荷動きが悪く、売上、収益は減少する可能性もある。

●9月の売上高は前月比増加、前年同月比変化なしとなった。収益状況は前月比で大きな変化はなく、前月比悪化となった。軽油価格が9月中旬から下旬にかけて上昇したことが主な要因であると思われる。10月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要を期待したが、季節商品が通常通り動いただけで、特に大きな荷動きはなかった。

●消費税率引き上げに伴う荷動きへの大きな影響はなかった。

運輸業（水運業）

●船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

平成30年7月豪雨の影響により、7月の輸送量が減少しているため今年は前年比増加となったが、例年に比べて大きな変化はない。

その他（不動産業）

●今月の売上は、公的評価報酬の入金があり、前月比増加した。前年同月比は特に変化はない。

当月から本格的に市町の固定資産税標準宅地評価及び国交省の地価公示評価作業が始まっており、12月からは国税の相続税標準宅地評価も始まるため、年末にかけて多忙になると思われる。

地価はホテルやマンション建設用地の需要が強いため、依然として上昇傾向で推移している。

ものづくり

企業
紹介

佐々木金属工業株式会社

顧客の利便性向上が、 企業を成長させる

代表取締役

佐々木 優子 氏



創業者の想い

当社は、板金職人だった先代社長が終戦後の昭和21年3月に創業した、金属屋根材及び外壁材等、建築板金資材の販売及び成型加工を行う企業です。創業者は職人としての使命にもとづき、焦土と化した広島市において戦後復興を目指す人々に、建物だけでなくバケツ等の金物や板金製冷蔵庫、遊具等、生活に寄り添った器具・道具を、板金技術によって作成して提供していたと聞いています。

その創業者の定めた社訓が「誠実・忍耐・努力」で、「誠実」は「お客様の満

足と真正面から向かい合うこと」、「忍耐」は「妥協を排し、完璧な管理と施工を行うこと」、「努力」は「常に先取りの気概をもって新しい分野と技術を拓くこと」の意味です。

創業者は、その社訓を実践していた人だったと記憶しています。そうした仕事の実績が評価されたのか、重要文化財「世界平和記念聖堂」の新築工事に参加されており、カトリッ



ク教会から昭和29年に頂いた感謝状は当社の励みになっています。

時代と共に、社名が「佐々木板金工作所」から「佐々木金属工業株式会社」に変わり、業態も屋根外装材等の自社製品をはじめとする鉄鋼二次卸問屋へと変えましたが、社訓は変えることなく引き継ぎ、社会貢献の一役を担える会社を目指しています。

外注加工からの脱却

高度経済成長期以降に整備された建築物の老朽化が進む中、その対策に関する仕事は増加傾向にあります。スレートや金属の屋根が劣化し、台風対策を含め、早急な対応を必要とする案件です。

対応方法は大きく分けて「葺き替え」と「カバー工法」の2つありますが、当社の顧客の多くが選択されるのが「カバー工法」です。既設の屋根を撤去処分するのではなく、既設屋根の上に新たに金属屋根材を施工する工法で、撤去及び廃材処分が必要ないため、比較的安価な上、工事期間も短縮できる長所を持つためです。最近では、断熱材を貼付するなど、断熱・遮音効果を高めた高付加価値の金属屋根を希望される方も増えています。

問題は工場・倉庫などの大型案件です。「カバー工法」では、物件の屋根に合わせた大きさの金属屋根を成形する必要がありますが、大型の工場・倉庫を対象とするには、成型一貫加

- 当会が地域事務局を担っているものづくり補助金に採択された会員組合員企業の
 ■ 経営トップの経営方針や未来への想いなどを紹介しております。
 ■ 当コーナーが企業間連携や異業種交流へと繋がることを期待します。



工場内の加工一貫ライン

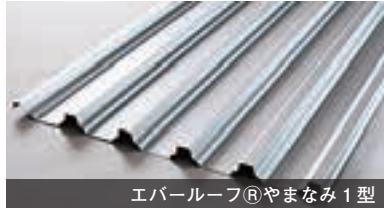
工ラインの長さが最低でも40～50mは必要です。そうした成形が行える企業は少なく、当社も県内外の同業者に外注していました。

しかし、納期・コスト面でお客様にご迷惑をおかけすることになっていました。より「誠実」な対応を行うために、何とか大型案件にも対応可能な加工一貫ラインを構築したいと考えたのです。

顧客の利便性向上を考えた設備をメーカーとタイアップして導入

長年にわたる交渉により、数年前に隣接する工場の土地と建物を購入することが決定し、改めて「実際にどのような設備を導入すべきか」「顧客が何を求めているのか」を検討しました。

主力商品である「カバー工法」の優れた点は「比較的安価」「短い工事期間」ですが、工事中は操業を止めてもらいます。そのことが顧客の大きな負担になっていると考えました。しかし、「間接カバー工法」であれば、工事中も操業をストップさせる必要がないため、より顧客のニーズに応えられると考えたのです。「間接カバー工法」はスレート屋根にビスを貫通させるのではなく、間接的に金属屋根を固定させる工法で、石綿その他



エバーラフ®やまなみ1型

の粉じんの発生、落下物に対するリスクや、工事中の雨漏りの心配もなく、断熱性も向上します。工事中の営業・操業が可能だけでなく、場内のシート養生や内部足場の設置経費も軽減され、工期も短縮できます。そこで、「間接カバー工法」を強化する方向で設備を導入することを考えたのです。

この方針を推し進めるために、創業者の時代からの付き合いがあり、長年の取引実績のある大手鉄鋼メーカーと協議を重ねました。結果、新築案件が減少する中で、中国地域で販路拡大を望むメーカーの意向と合致して、タイアップが実現することになりました。メーカーの協力を得た、中国地方の拠点となることができたのです。

信頼される企業であり続けるために

規模の大きい会社の場合、当社の

今回の取組も多くの商材の一つに過ぎないかもしれません。だからこそ、大きなこだわりがなく、当社が入り込む隙間が生じたのだと思います。しかし、中小企業が生き残って成長を続けるには、独自性のある商品を持ち、タイムリーに小ロットでも対応する体制を構築する必要があります。今回の取組はその独自性を得るものでした。

顧客へのサービスについては、中小企業ですので、全ての顧客にきめ細かいサービスを行うことには限界があります。しかし、創業者の「人を大切に」という想いを胸に、できるだけ多くの顧客との間に信頼関係を構築し、そうした顧客の求めには、部品一つの要望にも迅速に対応しています。

これからもこれまで同様、顧客の立場になって考えることを重視し、信頼される企業であり続けることを目指して、企業活動を行っていきたいと考えています。

(取材:連携支援部 角崎暢彦)

佐々木金属工業株式会社

〒730-0825
 広島市中区光南5丁目2-39
 TEL: 082-241-4449
 FAX: 082-245-9134
 URL: <http://sasakimetal.com/>



中央会 目録

10月 OCTOBER 2019

- 1日 ●(協)セントラルヤード 外国人技能実習制度適正化事業 (社会福祉法人せとうち)
- 1日 ●令和元年度卸商業団地機能向上支援事業 第2回委員会 ((協)ベイタウン尾道)
- 1日 ●令和元年度卸商業団地機能向上支援事業 第2回ワーキング委員会 ((協)福山卸センター)
- 5日 ●青年中央会 広島キッズシティ2019 (広島県立産業会館)
- 6日 ●特別講習会 広島県自転車(協)「自転車技術講習」(RCC文化センター)
- 9日 ●女性職員研修会 (広島グランドインテリジェントホテル)
- 11日 ●平成30年度補正「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」地域採択審査委員会 (ものづくり地域事務局)
- 13日 ●青年中央会 婚活イベント事業 (旧和木小学校)
- 16~17日 ●(協)庄原ショッピングセンター 中小企業組合等活路開拓事業先進地調査 (岩手県、長野県)
- 17~18日 ●全国中央会 事務局代表者会議・正副会長会議／全国大会特別委員会／中小企業団体代表者研修 (ザ・キャピトルホテル東急) <会長・専務>
- 21日 ●(協)東広島ショッピングモール 組合特定問題研修会「SNS戦略」(フジグラン東広島)
- 23日 ●(協)庄原ショッピングセンター 中小企業組合等活路開拓事業委員会 (組合事務所)
- 23日 ●広島県東部アパレル(協) 外国人技能実習制度適正化事業 (小畑被服)
- 24日 ●広島県商工労働局 令和元年度第1回広島県中小企業・小規模企業振興会議 (広島商工会議所) <専務>
- 24日 ●令和元年度卸商業団地機能向上支援事業 組合活性化事業第2回委員会 ((協)福山卸センター)
- 24~25日 ●第3回販路開拓セミナー(工業編・広島/福山) (広島商工会議所／福山市ものづくり交流館)
- 25日 ●川根柚子(協) 小企業者組合成長戦略推進プログラム等支援事業 販路開拓調査 (池田糖化工業(株))
- 28日 ●瀬戸内フードコミュニティ 中小企業組合等活路開拓事業委員会 (食品工業技術センター)
- 30日 ●ものづくり連携倶楽部ひろしま 第11回講演会・企業交流会 (福山ニューキャッスルホテル) <会長>
- 31日 ●令和元年度第2回理事会・秋期講演会 (ホテルセンチュリー21広島)

※太字になっているものが、広島県中央会の事業・行事になります。

編集後記

先日鳥取への出張帰り、岡山駅で新幹線に乗り換えて広島駅に到着し、事務所へ電話を入れようと思ったときの出来事です。「あ! iPhoneを新幹線に忘れた!!」鹿児島中央行きのさくら号だったので、僕のiPhoneは南九州へ向けて既に旅立っていました…。すぐに駅のインフォメーションに飛び込み、走行中の新幹線に電話をかけてもらったところ、既に車掌さんの手に渡っており、ホッと胸をなで下しました。「善良な市民がすぐに届けてくれたんだなあ」と僕は感謝の思いで一杯でした。JR西日本の新幹線の忘れ物は、下り線の場合は全て一旦博多駅に集められるとのことでしたが、僕のiPhoneは運良く博多駅到着前に発見されたので、そのまま博多駅で旅を終えることになりました。博多駅の忘れ物センターに電話をし、確認が取れたので翌日の便で自宅へ送ってもらうことになりました。今回の件で学んだことが一つあります。本体の設定で「iPhoneを探す」という項目をオンにしておくことです! これにより、無くした自分のiPhoneの位置を特定したり、まさかの時には遠隔で本体の個人情報などのデータを消去したりすることもできるので、皆さんも一度確認してみてください! (筒井)

表紙のことば



漁師の技が届ける、晩秋の味わい

海底の砂や泥に穴を掘って生活するシャコ。波の穏やかな瀬戸内海に多く、質も良いと評判で、広島の特産の一つとなっています。シャコと言えば、やはりお寿司。甲殻類特有の甘味と旨味が酢飯に良く合うと人気ですが、実は鮮度を保つのが非常に難しい食材。獲ってすぐ茹でなければ水っぽくなり、味が落ちる速度も早いとか。新鮮なシャコの握りが味わえるのは、漁師の方々の素早く丁寧な仕事があるからこそ、ということですね。また、シャコの卵は「カブツシ」と呼ばれ珍重されています。柔らかい身の内に朱色の卵をびっしり詰めた子持ちのシャコも、ぜひ一度ご賞味ください。



メルマガ会員募集中

当会のメルマガにご登録いただいた方には、公の施策やセミナー案内状などの「最新情報」を定期的にお届け致します。組合運営に係るお役立ち情報をお届け致しますので、是非ご登録ください!!

ご登録はこちらのアドレスへご一報下さい。

E-mail: chuokai@chuokai-hiroshima.or.jp

生産性向上支援訓練のご案内

「生産性向上支援訓練」は、企業や事業主団体の生産性を向上させるための職業訓練です。

訓練は、全国のポリテクセンターに設置した生産性向上人材育成支援センター（生産性センター）が、専門的な知見やノウハウを持つ民間機関等に委託し、企業・団体の課題やニーズにあわせて実施します。

さまざまな内容・分野の幅広い職務階層の方を対象としたカリキュラムで、従業員の生産性向上をお手伝いします。

○生産性向上支援訓練のポイント

①訓練を受講して生産性アップ！

生産性向上のために必要な課題解決や現場力強化につながる様々なカリキュラムをご用意しています。カリキュラムは、課題・ニーズにあわせて内容を**カスタマイズ**できます。

②オーダーメイドで訓練を実施！

日程や訓練会場などのご要望にあわせて、生産性センターが訓練をコーディネートします。

訓練時間は6～30時間の範囲内で、ご要望にあわせて設定できます。

③受講しやすい料金

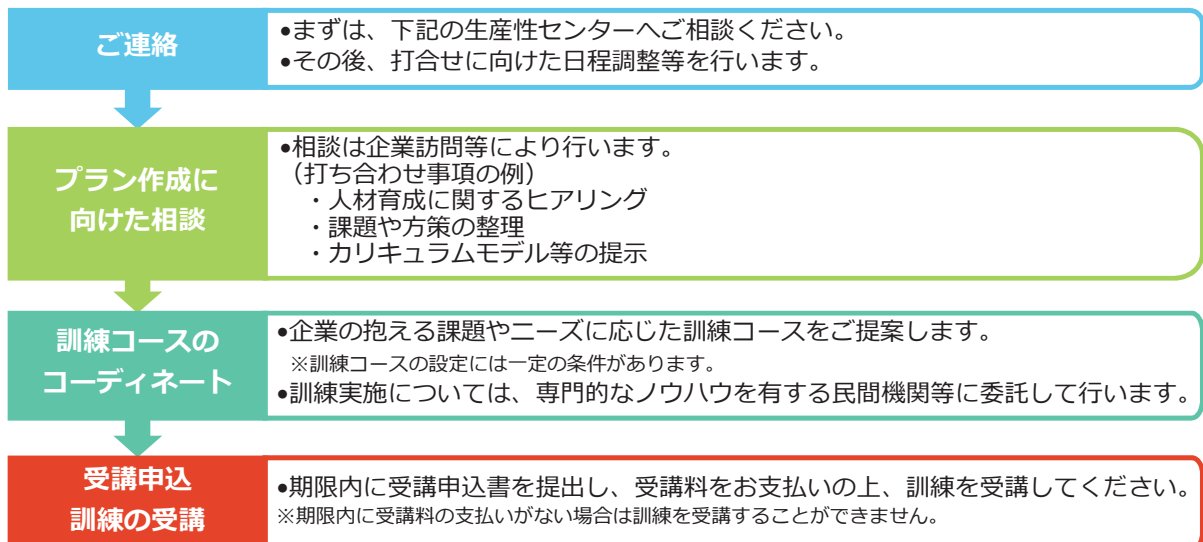
受講料は1人当たり**3,000円～6,000円**（税別）。

さらに、生産性向上支援訓練を従業員に受講させた事業主は、**人材開発支援助成金**を利用して経費及び賃金の助成を受けることができます。

※助成金の受給には、一定の要件（訓練対象者の職務と訓練内容の関連が認められること、10時間以上の訓練であること等）を満たす必要があります。



○ご利用までの流れ



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構広島支部
ポリテクセンター広島 生産性向上人材育成支援センター
広島県広島市中区光南5-2-65

TEL：082-248-1532 FAX：082-241-4734

Mail：hiroshima-seisan@jeed.or.jp

ポリテク広島



経営者・役員・従業員とそのご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。

BESTパートナー
大樹生命



従業員のための 退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、
安定した退職金準備が
できる共済制度です。

特定退職金共済制度 引受保険会社
大樹生命保険株式会社



経営者・従業員のための 万一の保障 団体扱生命保険

団体扱* (月払)の場合、
一般扱(口座振替月払等)で
ご契約いただくよりも、
保険料が割安になります!

オーナーズプラン

経営者の
各種リスクマネジメントのために

パートナーズプラン

役員・従業員の皆さまの
保障準備をサポート



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる
従業員さまのケガなどのリスクを
カバーする保険です。

業務災害補償保険 引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社
業務災害補償保険 取扱代理店
大樹生命保険株式会社



- * 団体扱とは、広島県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。
- * 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記までお問い合わせください。
- * 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」および広島県中小企業団体中央会の「退職金共済規程(規約・規則)」等を必ずご覧ください。

大樹生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の取扱代理店として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社 <https://www.taiju-life.co.jp/>

広島支社 〒732-0828 広島県広島市南区京橋町 1-23 大樹生命広島駅前ビル 3F TEL:082-262-0250

福山支社 〒720-0043 広島県福山市船町 7-25 ケイエスビル 7F TEL:084-928-3388

2019年4月1日より、三井生命は大樹生命に社名を変更しました。

大樹-KB-2019-159 (損保) B-2019-45 (2019.4)
B-2019-1049 (2019.4) 使用期限 2020.3.31